

発行 / 豊岡市 編集 / 政策調整部秘書広報課 〒668 8666 兵庫県豊岡市中央町2番4号
 ☎ 0796(23)1111 FAX 0796(24)2575 市長室FAX (24)1004 URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>
 (総合支所) 城崎 ☎(32)0001 竹野 ☎(47)1111 日高 ☎(42)1111 出石 ☎(52)3111 但東 ☎(54)1000

放鳥コウノトリにヒナ誕生

国内の自然界では43年ぶりのふ化

5月20日、豊岡市百合地の人工巣塔で、昨年9月に放鳥されたコウノトリのペアが産卵した卵からヒナ1羽がふ化しました。国内の自然界でのヒナ誕生は、福井県小浜市での昭和39年(1964年)以来43年ぶり、豊岡市では昭和34年(1959年)以来48年ぶりとなります。

ヒナの誕生は、同日の午前7時59分に県立コウノトリの郷公園の職員が、高所作業車から小さな頭をもたげる姿をビデオカメラで撮影して確認されました。ヒナは、順調に育てば約2カ月後に巣立ちし、大空を舞います。

市では、この朗報を受けて、翌21日に市役所本庁舎正面に、22日にはコウノトリ文化館に、それぞれヒナ誕生を祝う懸垂幕を設置しました。

中貝市長は「親鳥の頑張りと人間の努力がもたらした大きな一歩だ。うれしい。誰彼となく、おめでとう、ありがとうと言いたい。すくすくと育てほしい」と祝福のコメントを述べました。

《問合せ》コウノトリ共生課



国内の自然界で43年ぶりに誕生したコウノトリのヒナ。親からエサをもらいすくすくと育てている = 5月29日、豊岡市百合地(写真提供: 県立コウノトリの郷公園)

放鳥コウノトリのヒナ誕生までの主な歩み

1956年7月	コウノトリが国の特別天然記念物に指定	ナがふ化	
1964年5月	福井県小浜市で国内の自然界で最後となるヒナがふ化	1999年11月	豊岡市祥雲寺に野生復帰に向けた拠点施設、県立コウノトリの郷公園が開園
1965年2月	豊岡市野上に飼育場が完成。野生のペアを保護し、人工飼育を開始	2002年5月	飼育数が100羽を突破
1971年5月	豊岡市内で保護した野生最後の1羽が死亡し、国内の自然界のコウノトリが絶滅	2005年9月	飼育した鳥を自然界へ返す試験放鳥を開始
1985年7月	ロシア(旧ソ連)・ハバロフスク地方から幼鳥6羽を受贈	2006年4月	放鳥コウノトリのペアが国内の自然界で38年ぶりに産卵。ふ化に失敗
1989年5月	コウノトリの人工繁殖に成功。初めてヒ	2007年5月	放鳥コウノトリのペアが産卵した卵から国内の自然界で43年ぶりにヒナがふ化